

# ホクコーアディオン®乳剤

- 登録番号：第15959号
- 毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)
- 登録初年：1985.02.21
- 性状：淡黄色澄明可乳化油状液体
- 有効年限：5年
- 包装：100ml×60本、500ml×20本
- 危険物：第二石油類危険等級Ⅲ、火気厳禁

- 種類名：ペルメトリン乳剤
- 有効成分：ペルメトリン----- 20.0%
- PRTR法指定物質：ペルメトリン [第1種] ----- 20.0%
- キシレン [第1種] ----- 35.7%(代表値)
- エチルベンゼン [第1種] ----- 35.7%(代表値)

## 【特長】

- 極めて広い殺虫スペクトラムをもつ合成ピレスロイド系殺虫剤。
- 各種野菜から畑作物、果樹まで適用作物が幅広い。

## 【適用内容】(2016年11月30日現在)

作物名	適用害虫名	希釈倍数 (倍)	使用 液量 (%/10a)	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	ペルメトリンを 含む農薬 の総使用回数						
なし	アブラムシ類、シンクイムシ類	2000~3000	200~700	収穫前日 まで	2回 以内	散布	2回以内						
	ハマキムシ類	2000											
カメムシ類	シンクイムシ類、アブラムシ類				6回 以内			6回以内					
もも		モモハモグリガ							2000~4000				
		ハマキムシ類							3000				
ネクタリン	カメムシ類	2000			収穫7日前 まで			3回 以内	3回以内				
	シンクイムシ類、アブラムシ類	2000~3000											
	モモハモグリガ	2000~4000											
かき	カキノヘタムシガ、カメムシ類	2000~		200~700	収穫14日 前まで		5回 以内	5回以内					
	チャノキイロアザミウマ	3000											
	カキクダアザミウマ	2000											
キウイフルーツ	キイロマイコガ	2000~3000							200~700	収穫14日 前まで	5回 以内	5回以内	
	カメムシ類	2000											
くり	クリタマバチ	1000~2000	100~300			羽化脱出期但し 収穫14日前まで			6回 以内	6回以内			
	クリシギゾウムシ	2000											
かんきつ	ミカンハモグリガ、アブラムシ類	2000~4000				200~700					収穫14日 前まで	6回 以内	6回以内
	チャノキイロアザミウマ	2000~3000											
	カメムシ類	2000											
いちじく	アザミウマ類、アブラムシ類	2000		200~700	収穫前日 まで	2回 以内	2回以内						
	イチジクヒトリモドキ	3000											
にがうり	アブラムシ類、カメムシ類、タバコカスミカメ ヨトウムシ類、フキノメイガ	2000~ 3000		100~300	収穫前日 まで	3回 以内	3回以内						
ズッキーニ	アブラムシ類、フキノメイガ	2000~3000											
はまなす(果実)	シンクイムシ類	2000		200~700	収穫7日前 まで	2回以内	2回以内						
きゅうり	オンシツコナジラミ、ウリハムシ	2000~ 3000		100~300	収穫前日 まで	3回 以内	3回以内						
すいか、メロン かぼちゃ	アブラムシ類							3000			200~700	収穫前日 まで	5回 以内
			いちご、食用ゆり ごぼう						3000	200~700			
だいず	フタスジヒメハムシ							2000~3000			100~300	収穫7日前 まで	3回 以内
うめ	マメシンクイガ ジャガイモヒゲナガアブラムシ	24	0.8	収穫前日 まで	3回 以内	無人ヘリ コプターに よる散布	3回以内						
	アブラムシ類	3000	200~700										
ピーマン	アブラムシ類	3000	200~700	収穫前日 まで	2回 以内	散布	2回以内						
	タバコガ、カメムシ類	2000~3000 2000											
とうがらし類	アブラムシ類	2000~3000	100~300	収穫7日前 まで	2回 以内	散布	2回以内						
	タバコガ	2000~3000											
キャベツ	アオムシ、コナガ、アブラムシ類 ヨトウムシ、タマナギンウワバ	2000	200~700	収穫3日前 まで	5回 以内	散布	5回以内						

作物名	適用害虫名	希釈倍数 (倍)	使用 液量 (%/10a)	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	ヘルマトリンを 含む農薬 の総使用回数		
はくさい	アオムシ、コナガ、アブラムシ類 ヨトウムシ	2000	100~300	収穫7日前 まで	5回 以内	散布	5回以内		
だいこん	アオムシ、コナガ、ヨトウムシ ハイマダラノメイガ アブラムシ類			2000~3000	収穫30日 前まで		4回 以内	4回以内	
ブロッコリー	コナガ	2000		収穫3日前 まで	5回 以内		5回以内		
カリフラワー	アブラムシ類	2000~3000		収穫7日前 まで	3回以内 5回以内		3回以内 5回以内		
茎ブロッコリー	アオムシ	2000		収穫7日前 まで	2回 以内		2回以内		
レタス	アブラムシ類、ヨトウムシ	2000~ 3000		収穫14日 前まで	5回以内		5回以内		
リーフレタス		3000		収穫7日前 まで	3回 以内		3回以内		
葉ごぼう	アブラムシ類	3000		200~700	収穫前日 まで		2回以内	2回以内	
たまねぎ	アザミウマ類、ネギコガ、ハスモンヨトウ				5回以内		5回以内		
トレビス	アブラムシ類				3回 以内		3回以内		
ねぎ	アザミウマ類、ネギコガ シロイチモジヨトウ	2000	200~700	収穫前日 まで	2回以内	2回以内			
にんにく	アブラムシ類、ネギコガ			2回以内	2回以内				
ハスカップ	ハマキムシ類、アブラムシ類	2000~ 3000	100~300	収穫3日前まで	散布	3回以内			
アスパラガス	ジュウシホシクビナガハムシ カメムシ類 ヨトウムシ、アブラムシ類			2000			収穫前日 まで		
さやいんげん	カメムシ類	3000		収穫14日 前まで			3回 以内	3回以内	
豆類 (未成熟、ただし、さやいんげん、さやえんどう、未成熟そらまめを除く)	アザミウマ類、アブラムシ類 ハモグリバエ類、ヨトウムシ類 ウラナミシジミ、アズキノメイガ マメシンクイガ			3回以内			3回以内		
未成熟そらまめ				収穫7日前まで			2回 以内	2回以内	
さやえんどう	ナモグリバエ、ウラナミシジミ ヨトウムシ類			2回 以内			2回以内		
ほうれんそう	アブラムシ類、ハクサイダニ	4000		収穫21日前まで			2回 以内	2回以内	
しそ	ハスモンヨトウ、アブラムシ類 アザミウマ類、コナジラミ類			2回 以内					2回以内
オクラ	ハスモンヨトウ、アブラムシ類 カメムシ類	2000		収穫前日 まで			3回 以内	3回以内	
ミニトマト	オンシツコナジラミ、アブラムシ類	3000		1回			1回		
トマト	オンシツコナジラミ	2000~ 3000	100~300	収穫前日 まで	3回 以内	3回以内			
なす	アブラムシ類						3回 以内	3回以内	
なばな	オンシツコナジラミ、テントウムシダマシ類 カメムシ類	2000					収穫14日 前まで	4回 以内	4回以内
ばれいしょ	アブラムシ類 テントウムシダマシ類	2000~ 3000					3回 以内	3回以内	
とうもろこし	アワノメイガ アブラムシ類	2000 3000					収穫7日前 まで	5回 以内	5回以内
あずき	アズキノメイガ アブラムシ類	2000 3000					収穫21日前まで	5回 以内	5回以内
やまのいも	アブラムシ類、アザミウマ類 ヤマノイモコガ	2000~ 3000					収穫7日前 まで	5回 以内	5回以内
てんさい	ヨトウムシ	2000					収穫7日前 まで	5回 以内	5回以内
さといも	ハスモンヨトウ アブラムシ類	2000 3000					収穫14日前まで	2回以内	2回以内
かんしょ	イモコガ	2000					2回以内	2回以内	
食用亜麻	ヨトウガ		2回以内	2回以内					

作物名	適用害虫名	希釈倍数 (倍)	使用 液量 (%/10a)	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	ペルメトリンを 含む農薬 の総使用回数
茶	チャノココクモンハマキ	2000	200~400	摘採 14 日 前まで	1 回	散布	1 回
	チャノミドリヒメヨコバイ チャノホソガ、チャノキイロアザミウマ	2000~ 3000					
そらまめ	アブラムシ類	3000	100~300	収穫 7 日前 まで	3回以内		3回以内
しろな	アオムシ	2000~4000			2回以内		2回以内
みずな	アブラムシ類、ダイコンハマシ ヤサイゾウムシ	3000	200~700	収穫 14 日 前まで	1 回		1 回
アロニア	シンクイムシ類						
しゅんぎく	アブラムシ類、ハクサイダニ	4000	100~300	収穫 21 日前まで  収穫 7 日前 まで	2 回 以内		2 回以内
さといも(葉柄)	アブラムシ類 ハスモンヨトウ	2000					
つるむらさき	ヨトウムシ		200~700	収穫 3 日前まで	3 回以内		3 回以内
さるなし	キイロマイコガ						
ごま	アブラムシ類	2000~4000	100~300	発生初期	6 回 以内		6 回以内
花き類・観葉植物 (はばたんを除く)	カメムシ類、ハマキムシ類 ヨトウムシ類						
はばたん	アオムシ	2000	200~700				
樹木類 (くちなしを除く)	ケムシ類、アブラムシ類 シャクトリムシ類	4000~ 8000					
くちなし	アザミウマ類	2000					

#### 【効果・薬害等の注意】

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- 本剤のかんきつ、茶での散布は、場合によりハダニ類が増えることがあるので注意すること。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
  - ◆ ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないこと。
  - ◆ 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけること。
  - ◆ 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- 蚕に長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、付近の桑に付着する恐れのある場所では使用しないこと。
- ねぎのシロイチモジトウの防除に使用する場合は、食入前の若令幼虫期に使用すること。
- 本剤を無人ヘリコプターによる散布に使用する場合は次の注意を守ること。
  - ◆ 散布は各散布機種種の散布基準に従って実施すること。
  - ◆ 無人ヘリコプターによる散布にあつては散布機種種に適合した散布装置を使用すること。
  - ◆ 散布中薬液の漏れないように機体の散布用配管その他散布装置の十分な点検を行うこと。
  - ◆ 特定の農薬(混用可能が確認されているもの)を除いて原則として他の農薬との混用は行わないこと。
  - ◆ 作業終了後は次の項目を守ること。
    - ① 使用後の空の容器は放置せず、適切に処理すること。
    - ② 使用残りの薬液は必ず安全な場所に責任者をきめて保管すること。
    - ③ 機体散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理すること。
- 本剤は自動車等に散布液がかかると変色する恐れがあるので、散布液がかからないよう注意すること。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめ使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

#### 【安全使用上の注意】

- ❖ 誤飲などのないよう注意すること。誤って飲み込んだ場合は吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせること。  
本剤使用中に身に異常を感じた場合には、直ちに医師の手当を受けること。
- ❖ 本剤による中毒の治療法としては、動物実験でメトカルバモール製剤の投与が有効であると報告されている。
- ❖ 原液は眼に対して刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意すること。  
眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- ❖ 原液は皮膚に対して刺激性があるので、皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- ❖ 散布の際は農薬用マスク、手袋などを着用すること。  
また散布液を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをすること。
- ❖ 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。
- ❖ 魚毒性等：水産動植物(魚類)に強い影響を及ぼす恐れがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。養殖池周辺での使用は避けること。

水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。

無人ヘリコプターによる散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意すること。

使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

- ❖ 危険物第4類第2石油類に属するので火気には十分注意すること。
- ❖ 保管：火気をさけ、直射日光の当たらない低温な場所に密栓して保管すること。